

# 旧統一教会・小田原市議会議員アンケート結果

## 自由記述欄

番号は、集計一覧表の下段の番号です。

### 1、稲永朝美議員

旧統一教会は靈感商法や高額献金などさまざまな問題があり、その被害は深刻なものであると考えるが、本来被害者たちを救済すべき政治家たちがそういった宗教団体と関わりを持ち、被害を拡大しているのは非常に由々しき問題であると認識しています。また、そうした宗教団体が政治と関わりを持つことで政策決定にも影響を与えている。同性婚や選択的夫婦別姓・包括的性教育等が進まないのは、確実にバックに旧統一教会が存在していることの影響が大きいのではないかと考えます。

### 2 金崎 達議員

旧統一教会に係わらず靈感商法や寄付金の強要など反社会的な団体とは関わりを持つべきでない。政治家の倫理観が求められます。

### 3、中野正幸議員

宗教一般の問題ではなく、むしろ旧統一教会という団体が、高額な献金によって信者の生活を困窮状態に陥れるなど、他の宗教団体ではほとんど見られない社会的な問題やトラブルを数多く起こしてきたことが本質と考える。

### 4、篠原 弘議員

旧統一教会のみならず、特定の宗教団体の教義や目的の達成を、政治の側が実現するように動くことはあってはならない。

### 5、角田真美議員

政治と宗教は別に考えるべき、すべき。信教の自由は守られるべき(被害とは別に考えるべき)。

### 6、清水隆男議員

問題点を明らかにしていくことが大切と考えます。

### 7、鈴木敦子議員

以前参加(コンサート等)した際には、関連団体という認識はなかったが、今回発覚したため、今後は参加できない旨、連絡しました。書籍も購読はやめました。

### 8、鈴木敦子議員

政教分離は必要と考えます。家庭教育支援条例と統一教会の関連が問われる中、小田原市がこの条例を策定することは反対です。

### 9、小谷英次郎議員

市長はじめ関係のあった政治家は、第三者機関を設けるなど徹底した説明責任を果たすべき。